



1995年山梨関東四十雀大会にて  
私と千葉四十雀

林 學

四十雀という名称のサッカー集団が千葉に出現して35年という。勿論始まりのことは知らないのですが、私が初めてこのようなチームがある、というのか名前だけというのか、聞き及んだのが38歳の時である。昭和51年ということになりますか、声をかけてくれたのは大学サッカー部の先輩、今は亡き岩崎先生、通称ガンさんです。

前年の昭和50年に医学部サッカー部のOBチーム、龍子会を立ち上げ、千葉県の社会人リーグに参加、3部リーグを勝ち抜けて2部に昇格、と聞こえはよいのですが負けが込んでいた時期かと思えます。私が最年長ということで、四十雀チームの人が足りないから参加せよ、というのです。話を聞くと年に一回、関東四十雀サッカー大会という試合があり、千葉県として参加しているが、なんとしても人手が足りない。おまえは40歳に近いから出てくれ、ということなのでした。

当時は現在とは事情が大分異なり、40歳を過ぎてサッカーをやっている者は希であり、というか40過ぎてサッカーを経験した人も千葉ではあまりいなかったのではないのでしょうか。四十雀チームも大会にあわせて人を集めてなんとか参加をする、という形式であったと思います。ガンさんは県の蹴球協会に関わりがあり、声をかけてくれたようです。参加者は学校でボールをける機会も有るといふ事もあったでしょうが、教育関係の先生が多く、本当に年に一度の集まりといって良いものでした。

その年は確か群馬県の大会であったと思いますが、試合についての記憶は消えています。只、いつもの若い人達の社会人チームとの試合とは大分違う、来年は止めておこう、と思った事だけは憶えています。

予定通り翌年はパスして、40歳になった年から正式に(?)再参加し、これ迄、毎回のように参加してきている、というのが千葉四十雀という名称についての私の想いで、現在の四十雀クラブのメンバーから見ると全然違うよ、となると思います。毎週のように芝のグラウンドに集い、40代から60歳以上のメンバーが溢れている、というような状況は想像も出来ないことでありました。

当時から残っている人は見かけなくなりましたが、田中先生がゴール近くで動き回りシュートする姿などは目に浮かびます。鹿野先生、佐藤先生、館山の方から参加されていた石井先生・・・30年近く前の懐かしい記憶を、最近の物忘れ症候群に悩まされる頭の中で思い起こさせてくれる、千葉四十雀であります。

いつの間にか四十どころでなく、七十に近くなった自分のスポーツ歴をみると、小中学時代は陸上、軟式テニス、その後のサッカーと社会人になってからの硬式テニス、スキーそれにスポーツフィッシング(投げ釣り、ルアー釣り)などの末に四十雀サッカーと心中することになりそうです。